

平成30年度職員採用試験（大学卒業程度）
林業 専門記述試験（30.6.24）

＝ 課 題 ＝

○広島県の森林・林業の取組内容について

広島県では、農林水産業を取り巻く環境を踏まえ、平成30年度から平成32年度までの県の実行計画として「ひろしま未来チャレンジビジョン 農林水産業アクションプログラム（第Ⅱ期）」を本年3月に策定しました。

この計画の中で、林業分野においては、戦後造林された人工林が伐期を迎えているため、毎年の県産材生産量40万m³が社会において有効な資源として継続的に利活用されるとともに、林業の利益率を改善することで産業として自立できる林業経営の確立を目指すこととしています。

また、インフラの防災機能を向上させるための治山施設等の整備、森林の公益的機能を維持するための森林の整備や県民参加による森づくりを推進することとしています。

そこで、下記の項目のうちから2つを選択し、項目ごとに挙げているキーワードを参考にして、その現状と課題、及び行政が取り組むべき具体的な方策について、あなたの考えをそれぞれ述べなさい。

【項目及びキーワード】 ※①は必須選択、②～④はうち1つを選択すること。

①「林業経営」

- 林業経営適地の特定 ○林業経営適地の集積・集約化
○主伐・再造林の促進 ○計画的な木材生産 ○現場技能者の確保・育成

※林業経営適地とは、利益の確保が見込める
林業経営に適した森林のことです。

②「林業技術」

- 効率的な木材生産 ○再造林の低コスト化 ○苗木生産の体制整備

③「木材の流通・加工」

- 効率的な流通・加工体制の構築 ○木材生産の増加に応じた需要の確保

④「森林保全」

- 山地災害の防止 ○野生鳥獣等による森林被害
○手入れのされていない人工林 ○里山林の保全 ○県民参加による森づくり